

コード	90
-----	----

案件名	かすみがうら市立地適正化計画改訂案について
募集期間	令和8年1月16日～令和8年1月30日
意見受付件数	2件【持参1件、郵送0件、FAX0件、電子申請1件】
担当課	都市整備課

No.	意見の要旨	市の考え方
1	<p>①神立駅中心地区の活性化(他市町村から来たくなる町づくり)を早急に進める必要あり。選択と集中、優先順位を決める。</p> <p>②所有者を巻き込んだ空き家対策を目標値を設定し進める。補助金投資と税収のシミュレーション等を行い、集中投資し若年層を呼び込む。その為には住みやすい市街地づくりも並行して行う必要あり。団塊の世代が高齢化する時代に入っており、残された時間は少ないと思う。</p>	<p>限られた財源や人的資源を有効に活用するためには、施策の優先順位を明確にし、選択と集中の考え方に基づき取組を進めていくことが重要であると認識しております。</p> <p>本計画においては、人の集まりやすい神立駅周辺を中心に、まずは都市機能や居住の誘導を図る施策を推進していくこととしています。空き家対策に係る目標設定については居住誘導区域に限らず市域全体を対象とする施策として検討する必要があることから、本計画において直接的に位置付けるものではなく、空き家対策計画において対応してまいります。</p> <p>空き家対策や若年層の定住促進は、今後の人口減少・高齢化社会に対応した都市構造の形成において重要な視点であると認識していることから、スピード感をもって庁内関係部署と連携し課題解消に向けた取組を行ってまいります。</p>
2	<p>当市の人口動態、市民の意向、都市づくりの理念など今まで何度も調査し、整理し、将来計画を策定していると思います。今回の案もその線に従ったもので、方向性には賛同いたします。ただし、何時まで経っても計画・方針であり、具体的に当市の将来像を描き、当面は「これこれ」に着手しますという具体案を提案して頂きたい。</p> <p>具体案は、あくまでも案であり、今後市民と合議して推進していくものと考えます。</p> <p>もう時間の余裕はありません。この市を近い将来どのような市にしているのか青写真が必要です。市民の意見を統合するような検討会を早急に立ち上げ、市民・行政が一体となって検討する必要があります。その過程で、市民や職員の中から尖った人が現れて、当市の雰囲気ガラッと変えてくれることもありうるし、期待しています。</p>	<p>当市の現状としましては、全国的な傾向に漏れず人口減少や少子高齢化、財政状況、社会経済情勢の変化など、取り巻く環境はこれまでにないスピードで変化しており、将来を見通すことが容易ではない状況にあります。</p> <p>一方で、こうした状況を踏まえたとしても、ご意見にありましたとおり、本市の未来に向けて青写真となるような計画や一定の柔軟性を持った具体案の策定し、段階的に検討・見直しを継続的に行うといった一歩踏み込んだ施策展開が必要であることも、また事実であると認識しております。</p> <p>今後、具体案の策定に当たっては、市民の皆様の意見や知見を取り入れられる方法について検討し、取り組んでまいります。その過程において、これまでとは異なる視点や実現可能性を踏まえた新たな発想が生まれることは、都市の魅力や活力を高める上で大変有意義なものと考えているところです。</p>